

東広島市をよりよくしていくために

中央中学校 二年 奥田 拓途

東広島市では高齢者が増えて若者が減る少
子高齢化が問題となっています。この問題の
解決案として市では子育て支援金などを増や
していますが、私はそれに加え高齢者と子供
たちを触れ合わせる施設を造ることを提案し
ます。理由は三つあります。

一つ目は高齢者と子供を触れ合わせること
により高齢者がより長く生きる理由となると
思うからです。なぜなら子供たちと触れ合う
ことにより高齢者の脳の活性化をすることも
でき、認知症などにもなりづらくなると思っ
たからです。そして高齢者がより長く生きる
ことにより、高齢者は多くの知識を持ってい
るので生活がより豊かになったり、一緒に生
活している人たちの介護も楽になったりする
と思ったからです。

二つ目は、高齢者は多くの知識があるので
子供と触れ合わせるにより高齢者の多く

の知識を子供に伝えることができると思うか
らです。高齢者と触れ合うことにより、子供
たちが知識だけでなく、伝統や歴史を引き継
ぐ大切さを学ぶことができると思います。例
えば伝統の観点では高齢者は昔の遊びも
多く知っており、それを子供たちに教えるこ
とで、子供たちも昔の遊びを引き継ぐことが
でき、子供たちの遊び方が増えるだけではな
く、伝統を引き継ぐ大切さを学ぶ第一歩にな
ると思ったからです。例えば、高齢者と駒回
しをしたりでんでん太鼓をしたりするだけで
も昔の遊びという伝統を引き継いでいるとい
うことができると思ったからです。歴史の観
点では、高齢者の人たちの話を聞くのは、本
で読んだりするよりその時のリアルを知るこ
とができ、より同じ過ちを繰り返してはいけ
ないと思う第一歩になると思うからです。例
えば、被爆者の高齢者により原爆のリアルを
伝える人がいなくなるという問題があります
が、その問題も施設を作ることによって施設

の中で原爆のリアルが伝えられていくことにより、その施設に通っていた被爆者の方がなくなってもその人から話を聞いていた子供たちが今度はそれをまた伝えていくことができると思ったからです。

三つ目は子供のうちから人になれておいたほうがその後の学校の友達作りなどもうまくいくと思ったからです。幼いうちから高齢者と触れ合うことで、人見知りになりにくくなり、友達を作るときも自分から積極的に話しかけることができ友達も作りやすくなると思います。更には、地域の人と仲良くなっていざという時に助けてもらえる人を増やしたり、困っている人に対して積極的に手助けしに行つて社交的な経験を増やしたりすることもできると思ったからです。

このような理由から私は高齢者と子供たちを触れ合わせる施設を造ることを提案します。